

に

「に行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

…に …はずがない 「何の来うに」
 にあがる にやがる 凶に乗る 調子づく 増長する つきあがる
 にあげ にやげ【縫い上げ】 [ぬ]の転音
 にあげあぐる にやげあぐる【縫い上げる】 着丈を調整する
 にあわん にやわん 似合わない
 にいじ【人数】 頭数 「うーにいじ」大勢
 にいじん【人参】《日ポ》 にじん《御所浦》 人参 **carrot** セリ科の野菜
 に一だ【脱いだ】 裸になった [ぬ]の転音
 に一て【貫いて】 (串などで) 貫いて 「に一て焼一て」
 に一でにゃ に一でん 似ないで 似ずに
 に一でぬる 脱いで寝る [ぬ・ね]の転音
 に一とい にとい 似ている 似る **resemble** 《牛深》
 に一どる 脱いでいる [ぬ]の転音
 に一になる に一ンなる 荷物になる
 …に一ろ …にろ …だろうか 「来るに一ろ」
 にえ 古語【贅】 神仏への供え物 「生け贅」
 にえきらん にえん 煮えない ②態度が曖昧
にえくさる にえくる【煮え腐る】 煮え過ぎる
 にえくりかえる 古語【煮えかへる】 激怒する《京》
 にえたぎる 沸騰する ②激怒する 「腹ン虫がにえたぎる」
 においンせん におわん 匂いがしない
 におう 古語【匂ふ 臭ふ】 **smell** 香る ②臭い **stink** 《京》
 におうとる によとる 似合っている 釣り合っている 調和している
 …にが …にこそ …の方が 「山にが多か」
 にかえ《京》 にかえだて 二階 二階建て
 にかが にかぎゃー 古語【苦い】 **bitter** ②苦しい
 にかごうり にかごり にかが瓜《日ポ》
 にかさー にかぎゃー にかげー 苦いな ②苦しいな
 にかがね 腫瘍 おでき
 にかがま にかがまだけ 川竹の一種
 にかがみばしとる 顔立ちが引き締まっている
 にかがむしかんつぶす 顔をしかめる 嫌な顔をする
 にかがり〈苦汁〉 海水から塩を取り出した残りの苦い液体
 にかがりきとる〈苦り切る〉 不愉快極まりない状態
 …にき 古語【ねき】 側に 傍らに 隣に 近くに 「親ンにき」
 にかがあわする 賑やかにする 活気づける 豊富に見せる
 にかがおうた にかがようた 古語【賑はふ】 賑わった 活気

にぎつつくる にぎつつける 睨み付ける
にぎつつぶす【握り潰す】 ②証拠を隠す 抹消する
にぎっとる にろうどる 睨んでいる
にぎにぎしか 古語【賑々し】 大勢で賑やかな様
にぎゃーた にげーた 逃がした 逃がしてしまった
にぎゆい にぎうゆだ にぎゆわい 逃げよう
にぎり【握り】 ②どん欲 けち しみったれ《京》
にぎりめし【握り飯】 お握り お結び **rice ball**
にぎる 古語【睨まふ】 睨む **glare at** 目を怒らして見る
にくじ 〈憎事〉 嫌々で反抗的仕種 ②憎まれ口 悪口 態と
にくたらしか につか 古語【憎し】 憎々しい《京》
にくまれぐちたたく 憎まれ口を言う
にくまれもん 憎たらしい人 嫌われ者
にぐる【逃げる】 **escape** 逃れる 逃避する 避ける **avoid**
にぐんな 逃げるな 避けるな
にげおうす 古語【逃げ果す】 逃げ切る
にげこうじょう【逃げ口上】 言い訳
にげそくなう【逃げ損なう】 捕らえられる
にげたくる にげつらかす にげまくる 逃げに逃げる
にげまどう 古語【逃げ惑ふ】 逃げ場を失う
にごうい にごうして にごうて にごして【苦くて】
にこごり【煮凝り】 魚の煮付けが冷えて固まったもの
にごっざけ にごりざけ【濁り酒】 どぶろく
にこよん 昭和20年代日給240円から日雇い労務者の俗称
にしあげ 西風 **west wind**
にしえ【二世】 嫡男 総領息子 長男 ②若者
にしえもん【偽物】 模造品 **imitation**
にしがむる にしがめる【顰める】 顰む 顔をしかめる
にしがめっつら にしがめづら しかめっ面 不機嫌な顔
にしがめて にしごうで 顔をしかめて
にじつつくる にじつつける 古語【躡る】 じりじりと押しつける
にじみづる にじみでとる【染み出る】
にじむ にじむ【滲む】 **spread** 染みる
にしむる【煮詰める】 よく煮込む
にしめ【煮染め】 野菜や肉を煮込んだ料理《京》
にしゃ にせ【二才】 青二才 **greenhorn** 未熟者 若者 **young man youth**
にじりこむ 古語【にじりこむ】 無理やり詰め込む
にじりよる【躡り寄る】 じわじわ寄ってくる 躡り寄る 膝行する
にじる 古語【躡る】 膝を押しつけて進む 擦り寄る《京》
にじん《御所浦》 人参 **carrot** セリ科の野菜

にする【似せる】**imitate** 真似る 似るようにする

にせ【二世】 嫡男 総領息子 長男 ②若者

にせもん【偽物】 模造品 **imitation**

にそくさんもん 古語【二足三文】 安物 捨て値

にたうつ 鳥獣が土浴びをする 転んで土がつく

②腰砕けになる 《アイヌ語》ニタ（湿地 沼地）

にたすけ【若氣】 ^{にやげ} にやけた男

にたき【煮炊き】 **cooking** 炊事 おかずを煮たりご飯を炊く

にたにた 声を出さずに気味悪く笑う

にたりよったり よく似ていて大差がない《京》

にちやにちや にちやつく 柔らかく粘り気がある

につかみだす 歯を剥き出す

にっちも さっちも【二進も三進も】 ^{にうち} ^{さっち} どうにも動きが取れない 行き詰まる《京》

にっぱち【二八】 二月・八月は仕事が閑散な時期《京》

にてもにつかん 全く似ていない 親に似ない

にてもや一てもくえん 始末におえない ②油断できない

…にでん …にでも 「明日にでん」

にとい《牛深》 にとる《京》 似る **resemble** 似ている

にどいも〈二度芋〉 じゃがいも 春秋の二度収穫できる芋

にどじき【二度食】 一日に二度の食事を摂る

にどねえり【二度眠り】 目覚めた後また眠ること

にどぼれ【二度惚れ】 魅力の再発見

にとらす にとらる にとんなす にとんなはる 似ていらっしやる

にとらっさん にとんなっせん 似ていらっしやらない

にとらん にな【似ない】 似ていない

にのまい【二の舞】 前者の失敗を繰り返す ②人真似をする

にばんくさとる 二度目の除草 ②再度金品を要求する

にばんごえ【二番肥】 追肥

にばんせじ【二番煎じ】 二度目の煎じ薬 ②新鮮みがない

にばんぞえ【二番添え】 後妻 **second wife**

にひゃー にへー【二杯】 **two cup**

にもん【煮物】 **cooking** 煮つけ料理

…にや …には 「庭にや二羽、鶏が居る」

…にや …なければ …ねば 「行かにやならん」

…にゃー …だよね …だねえ …ねえ 「じゃつとにゃー」

にゃー【無い】 [な]の転音 「何ものにゃー」

にゃーた【泣いた】 [な]の転音

にゃーとる 泣いている 悲しんでいる [な]の転音

…にゃいかん …なければいけない 「せにゃいかん」

にやがる 図に乗る 調子づく 増長する つきあがる

にやくる にやける《京》 古語【若氣^{にやげ}】 にやにやした男
にやげあぐる 和服の着丈調整の縫い込み 縫い上げ
にやわん 似合わない そぐわない
…にゃん …ねばならない 「掃除せにゃん」
にゅうい …かい …だ …だい …だね 寝ようか
にゅうかね にゅうかにゃ 寝ようかな [ね] の転音
にゅうごたる 寝たい ②眠りたい
にゅうみゃーだ にゅうめーだ 寝ないで起きていよう
にゆる 古語【煮ゆ】 煮える 食物に充分熱が通る《日ポ》
によいぼう【如意棒】 僧が持つワラビ状の棒 思いが叶う
によとる によとる《京》 似合っている
によろによろ 蛇行する 体を捻じる うねる くねる
にらみきかする 監視の目が届く ②威圧する
にらむ 古語【睨^{にら}まふ】 睨む ②見当を付ける《日ポ》
にらん にん【似ない】 「親一似ん」
にれーっとして 薄笑って にとりとして
にればにたもん にればにるもん 良く似たものだ
…にろ …やら …だろろうか 「来たにろ」
にろうどる 睨んでいる ②見当付けている ③厳しく監督している
にろく〈二禄〉^{にはか}二番芽ぐみの稲穂
にわか 古語【俄】 suddenly 突然 いきなり 急に
にわかじこみ〈俄仕込み〉 急に間に合わせに教え込む
にわかじたて〈俄仕立て〉 間に合わせに作った物
にわりもん〈二割物〉 二級品 粗悪品
にん にんばにんもん〈似ない〉 全く似てないね
にんぎまま お握り rice ball (幼児語)
にんげんノわるか 人柄が良くない ②親切でない 思い遣りがない
にんげんよし お人好し 誠実な人
にんそく【人足】 人夫 土方 力仕事をする労働者
にんそんわるか【人相】 顔つきが悪い 悪人顔
にんにん【人相】 各人各様 人それぞれ
にんみゃー にんめー【二枚】
にんみる 人格を見る 相手の人間性を見る

 [トップページへ戻る](#)